

2021年度さくらはうす職員学習会  
第1回 食物形態

2021年4月19日  
生活支援センター  
OT加納雪絵

あなたの担当の利用者さんの食物形態・水分形態は何ですか？

食物形態

- ・ 普通食
- ・ 刻み食
- ・ ペースト食
- ・

水分形態

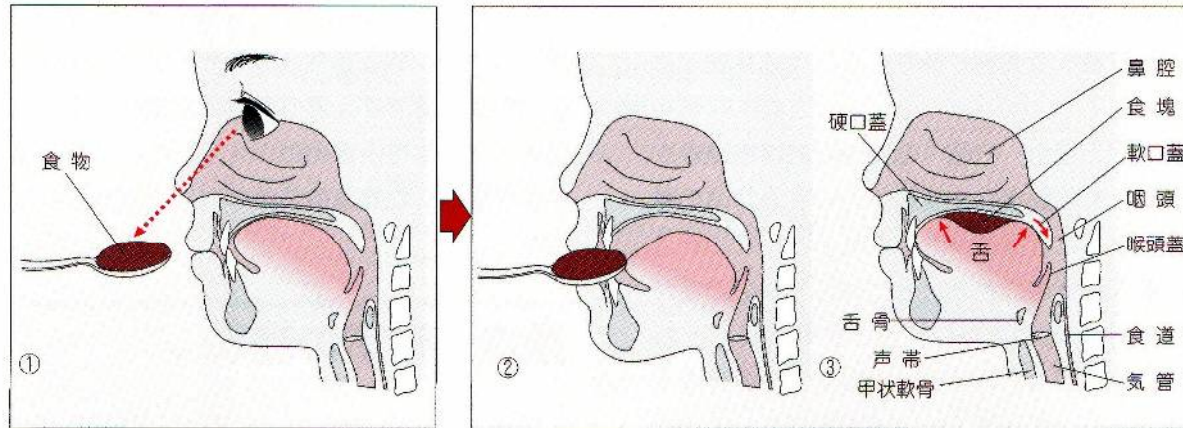
- ・ そのまま
- ・ とろみ付き
- ・ ゼリー状
- ・

その利用者さんはなぜその食物形態・水分形態を摂取しているのか（理由）？



# < 摂食の 5 期 >

模式図



1. 先行期 (認知期)

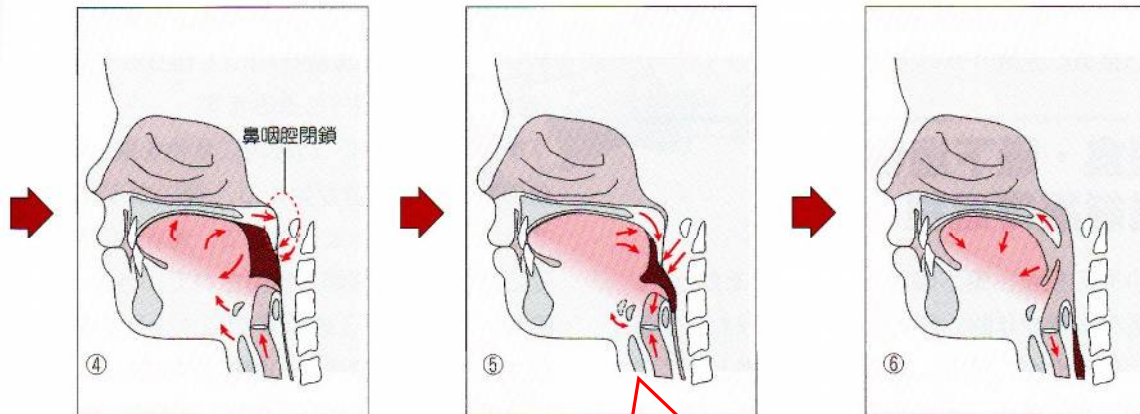
2. 準備期 (咀嚼期)

口腔への取り込み

咀嚼

食べ物を認識する、覚醒状態、食欲など

口の中に取り込んで、噛み砕き、唾液と混ぜ合わせて飲み込みやすい形をつくる。  
(咀嚼・食塊形成)



3. 口腔期

4. 咽頭期

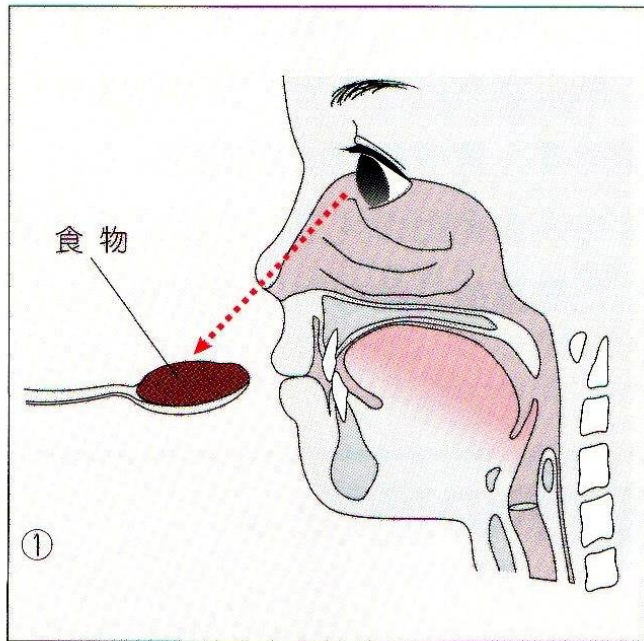
5. 食道期

食塊を喉の奥に運ぶ

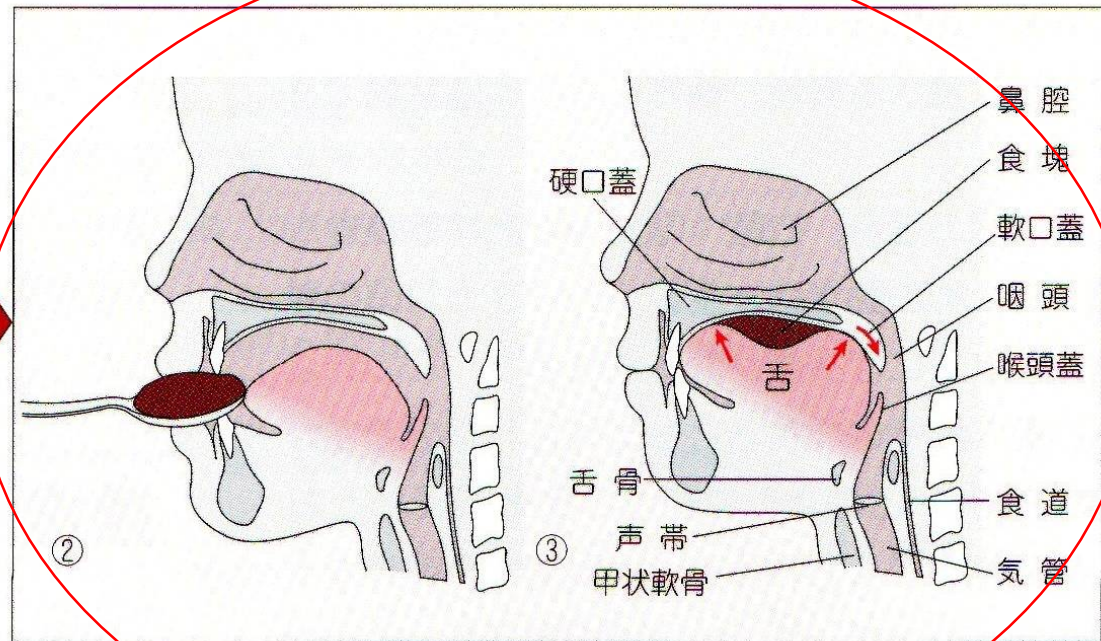
嚥下「ごっくん」

胃に食べ物を運ぶ

影響を与えるのは、  
 ① 噛めるかどうか（準備期、咀嚼期）



1. 先行期 (認知期)



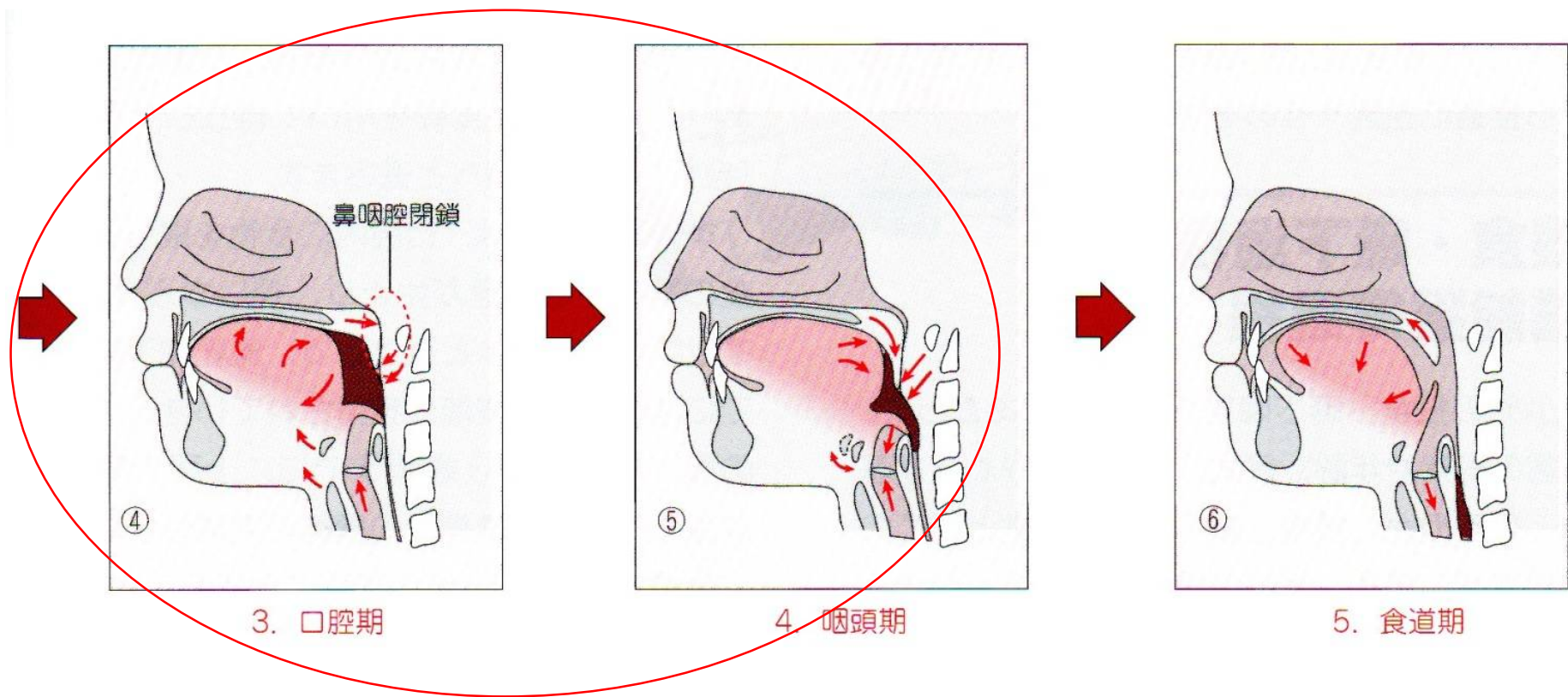
口腔への取り込み

2. 準備期 (咀嚼期)

咀嚼



影響を与えるのは、②飲み込んだ時に誤嚥しないかどうか（口腔期、咽頭期）



日本摂食・  
嚥下リハビリ  
テーション学  
会  
嚥下調整食  
分類 2013



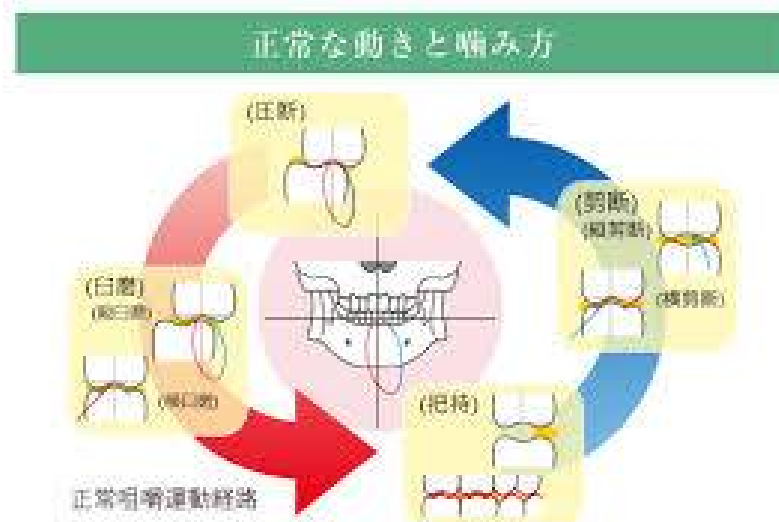
## 食物形態を考える時、

噛めないことから、喉を詰めないように（窒息）サイズの調整だけに形態の調整が向きがちで、「粗刻み」「細か刻み」などになりやすい傾向があります。

しかし、噛む→咀嚼する→食塊形成 は、噛み切った後に臼歯で、臼状の動きで唾液と混ぜ合わせながら飲み込めるかたちに食塊形成する必要があります。



咀嚼による食塊形成の動きでは、  
下顎の回転、横方向の動きが必要です





噛めない人にどのような食物形態のものを口に入れるとよいでしょうか？

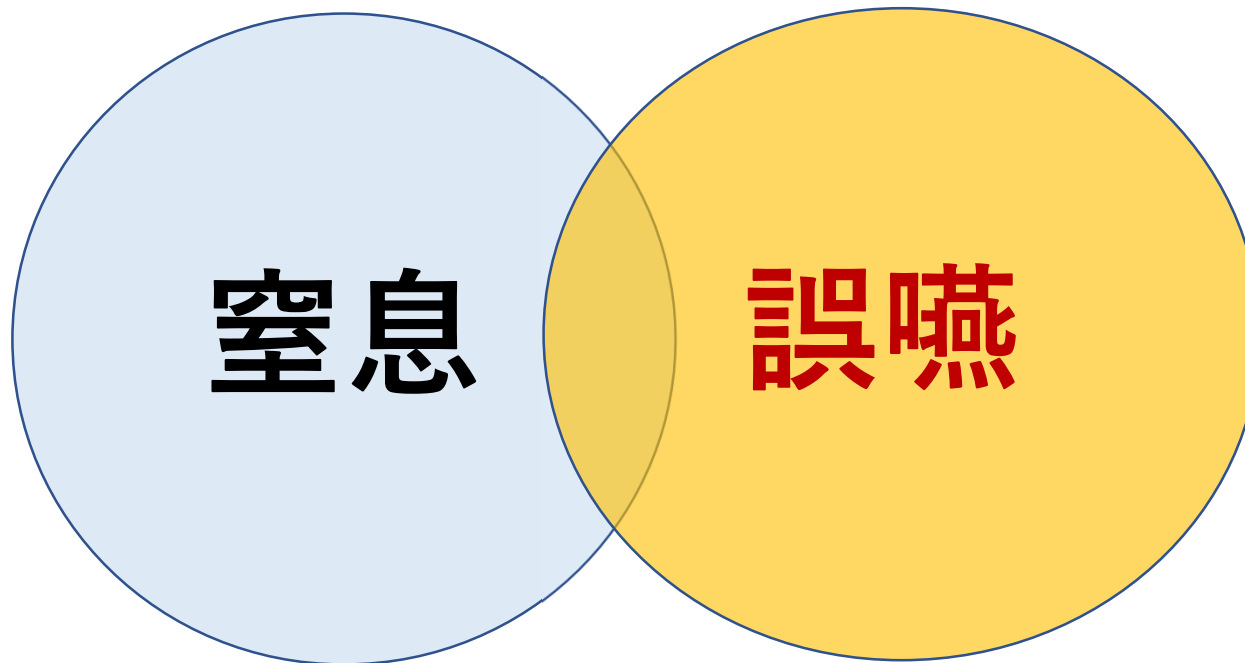
毎日の食事介助の際に、  
どのように皿の中の食事を調整して口の中に入れるのか？  
という支援に繋がります。

せんべいのかけらを咀嚼し、飲み込むのを我慢してティッシュに吐き出す

噛めないのに食物形態の高い食べ物を口に入れた場合、どうなるでしょう？

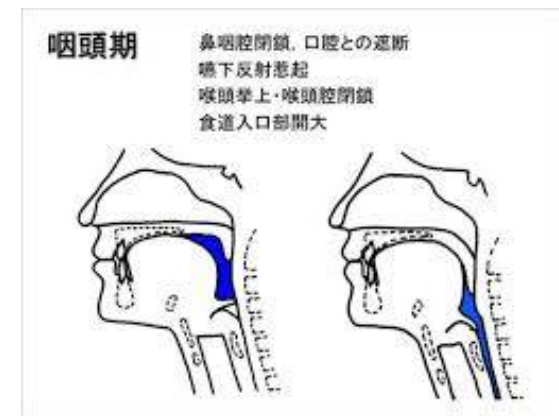
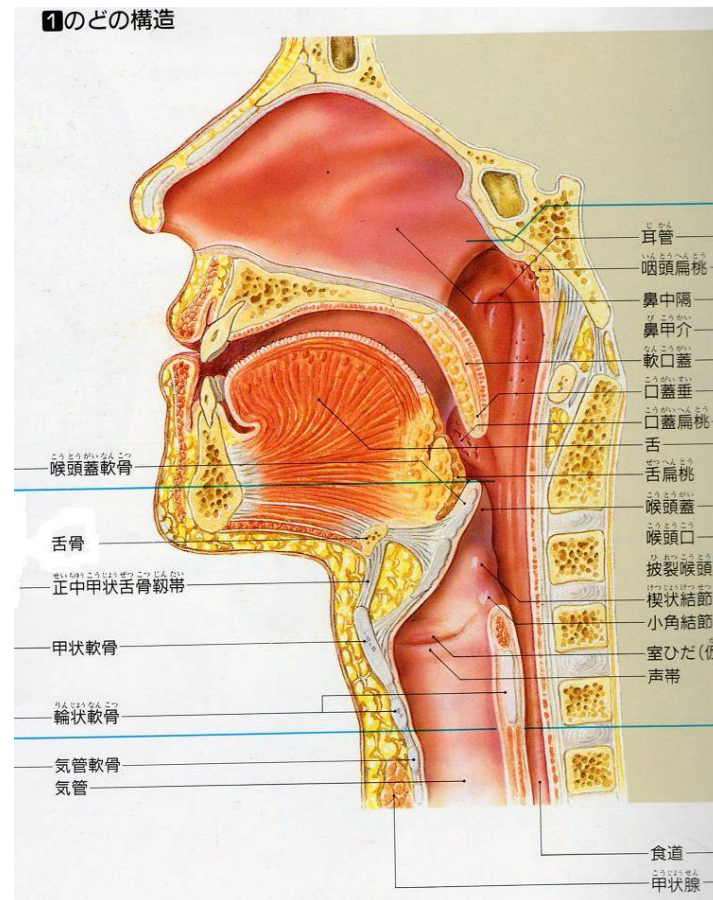
せんべいのかけらを噛まずに飲み込む

# 食事の最大のリスク

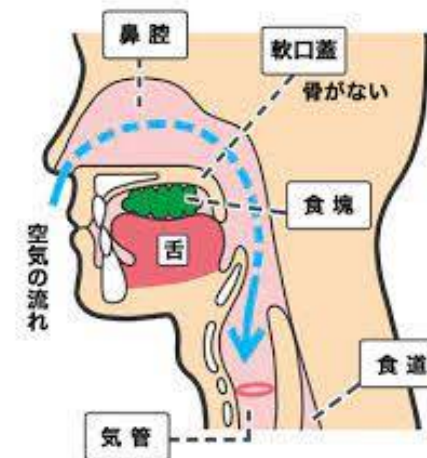
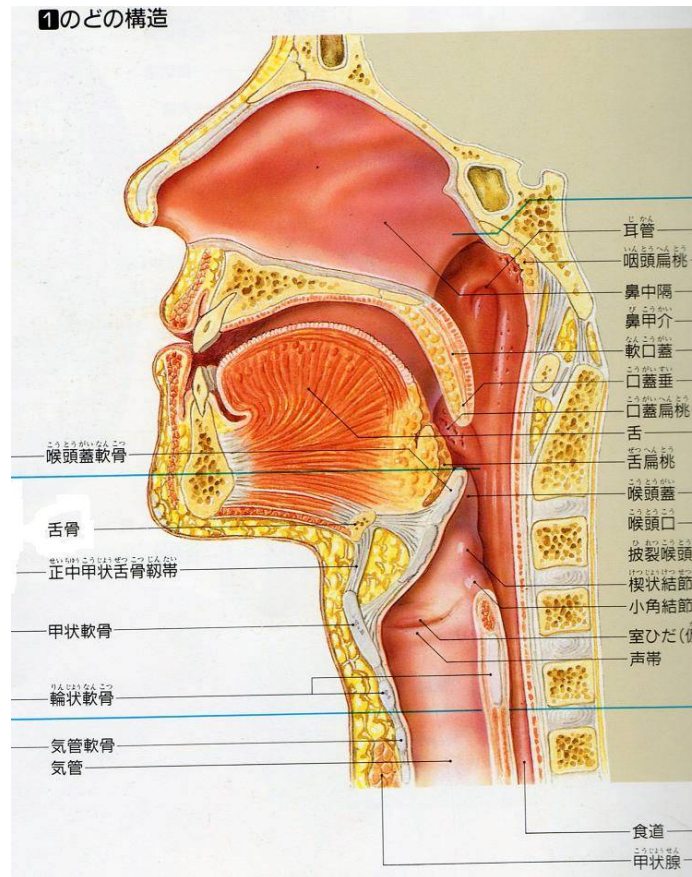




# 嚥下（飲み込む）とはどういうことか？



誤嚥するとどのような症状が出るのか？  
誤嚥とはどのようにして起こるのか？



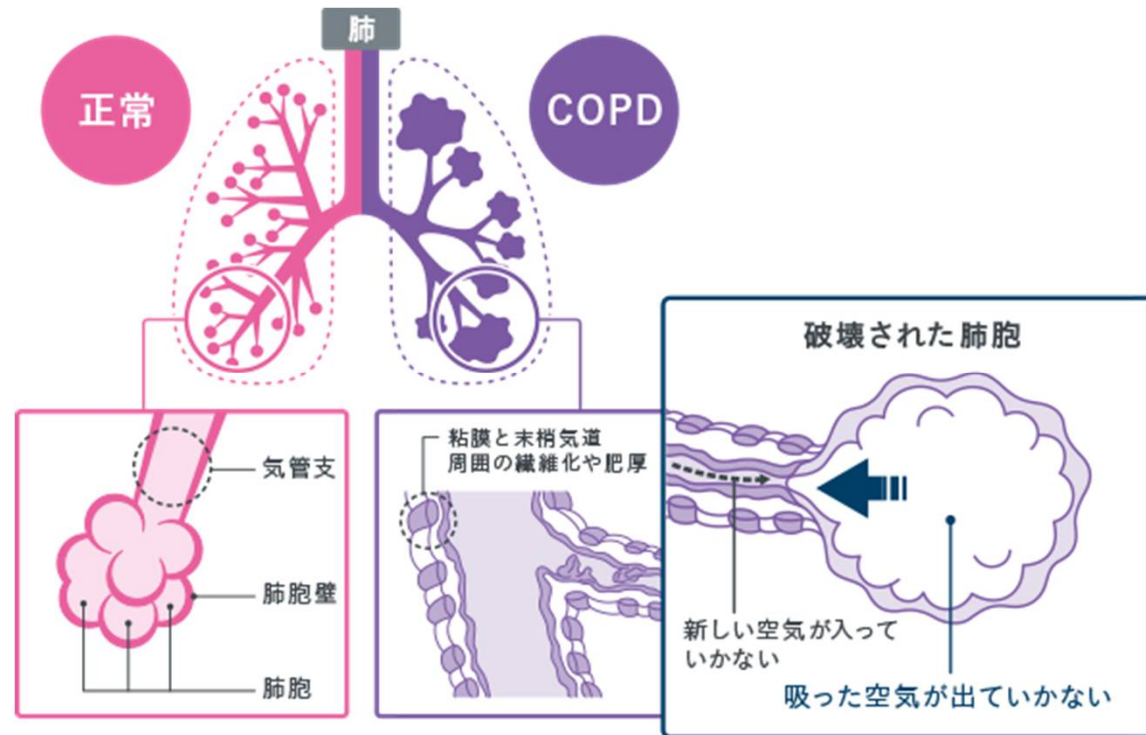
むせていなければ、発熱していなければ  
誤嚥していないと思いますか？

誤嚥 ≠ 誤嚥性肺炎

# どうしたら 誤嚥性肺炎になるでしょうか？

- 免疫力の低下
- 咳嗽反射（咳反射）の低下
- 誤嚥量、誤嚥内容

→この知識をどのように  
生かしますか？



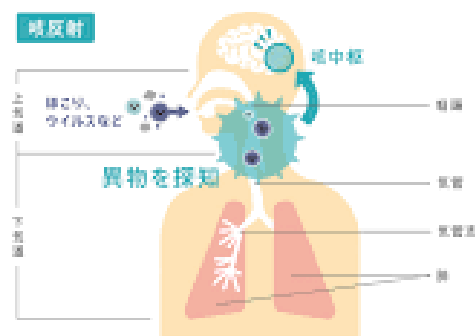
# 免疫力の低下





# 咳嗽反射（咳反射）の低下

咳(がい)反射(いわゆる「せき」反射)

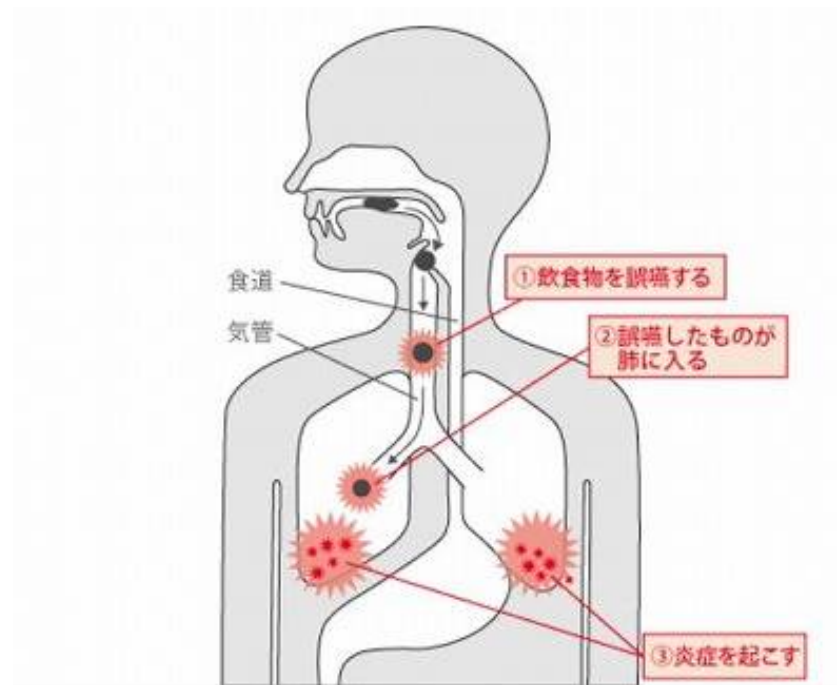


咳できることは、**良いこと**  
※ 異物除去を反射的に行っている



# 誤嚥量、誤嚥内容

- 食物
- 唾液
- 嘔吐物



## まとめ

明日から、どのように食事介助をしますか？

どのようにして一口を入れますか？

むせたときどのように対応しますか？

一つ一つの支援を意識的にすることが重要です。